PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

63-006717

(43) Date of publication of application: 12.01.1988

(51)Int.CI.

H01J 1/30 H01J 37/06

(21) Application number: 61-148048

(71)Applicant: CANON INC

(22) Date of filing:

26.06.1986

(72)Inventor: SUGATA MASAO

TSUKAMOTO TAKEO

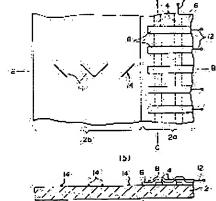
SHIMIZU AKIRA SUZUKI AKIRA SHIMODA ISAMU OKUNUKI MASAHIKO

(54) ELECTRON-EMITTING DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain an exact positional relation to a material to be processed, by using a transparent insulating substrate divided into two regions and mounting electron-emitting elements in a region and alignment marks in the other region in an electron emitting device where electron emission is induced by application of a voltage.

CONSTITUTION: A surface of a transparent insulating substrate 2 made of a material such as glass is divided into two regions, and one region is used as a region 2a for electron-emittingelement formation and the other region is used as a region 2b for alignment-mark formation. The first metallic layer 4 made of the plural number Al stripes or the like arranged at regular intervals is mounted in the region 2a, and the whole surface containing them is covered with an insulating layer 6 made of SiO2 or the like, and then the end part of the layer 4 is equipped with terminals 10 for application of the driving voltage. The second metallic layer 8



(n)

consisting of the plural number of stipes made of the same material is then formed perpendicularly to the layers 4 on the layer 6, and it is also connected with terminals 12. A plurality of alignment marks 14 are disposed directly on the substrate 2 in the region 2b. Hence, high- precision electron irradiation can be performed.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

19日本国特許庁(JP)

昭63-6717 @ 公 開 特 許 公 報 (A)

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

43公開 昭和63年(1988)1月12日

H 01 J 1/30 37/06 C-6722-5C Z-7129-5C

発明の数 1 (全5頁) 審査請求 未請求

49発明の名称 電子放出装置

の特 頤 昭61-148048

22出 願 昭61(1986)6月26日

沓 \mathbf{H} īF. 夫 60発 明 者 明 者 塚 本 健 夫 勿発 明 四発 明 者 清 水 彰 明 木 勿発 者 鉿 勇 明 下 \blacksquare 79発 者 昌 彦 明 貫 ②発 者 キャノン株式会社 ①出 願 人 弁理士 山下 稳平 70代 理

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

キャノン株式会社内 キャノン株式会社内 キャノン株式会社内 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

1.発明の名称

電子放出裝置

2.特許請求の範囲

(1) 透明且つ平面性良好な絶縁茘板上に第1の・ 金属層と絶録体層と第2の金属層と鉄第1及び第 2 の金属層間に電圧を印加するための手段とを有 してなる電子放出案子が少なくとも1つ配設され ており、且つ上記基板には上記電子放出案子が配 **量されずにアライメント用マークが付されている** 領域が存在することを特徴とする、電子放出装 27 .

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は電子放出装置に関し、特に電圧印加に より電子放出が誘起される電子放出案子を有する 電子放出装置に関する。この様な電子放出装置は たとえば各種電子ピーム露光装置等の電子ピーム 応用装置の電子発生額として好適に利用される。

【従来の技術】

電子発生額としては従来熱陰極からの熱電子放 出が用いられていた。この様な熱陰極を利用した **電子放出は、加熱によるエネルギーロスが大きい** 点、加熱手段の形成が必要である点、及び予備加 典にかなりの時間を要する点や熱により系が不安 定化しやすいという点で問題があった。

そこで、加熱によらない電子放出案子の研究が 進められ、いくつかの型の案子が提案されてい

たとえば、PN接合に逆パイアス電圧を印加し 電子なだれ降伏現象を生ぜしめ楽子外へと電子を 放出する型のものや、金属ー絶縁体層ー金属層の 構成を有し該2つの金属の間に電圧を印加するこ とによりトンネル効果で絶縁体腎を通過してきた 電子を金属層から楽子外へと放出する型(MIM 型)のものや、高抵抗糠膜にその膜厚方向と直交 する方向に電圧を印加し鉄錬膜表面から楽子外へ と電子を放出させる裏面伝導型のものや、電界集 中の生じ易い形状の金属に対し電圧を印加して局 所的に高密度の電界を発生させ設金屋から業子外

へと電子を放出させる電界効果型(FE型)のものも、その他のものが提案されている。

これら電子放出案子の応用例として、該案子を 複数2次元的に配列し、これら各案子からの電子 放出を適時ON-OFF制御することにより所望 のパターン状に電子放出を行なわせ、かくして放 出された電子をそのままあるいは適宜の手段によ り加速及び偏向させて被加工物表面に衝突させ電 子ピーム第光により表面加工または表面変質を行 なうことが考えられる。

[発明が解決しようとする問題点]

上記の様な電子放出案子のうちで、MIM型の電子放出案子は印加電圧が比較的低くてよく且つ それ程高い真空度を必要としない特長がある。

このMIM型電子放出業子を用いて上記電子ビーム電光装置を構成する既には単に案子のみを配列しただけでは被加工物とのアライメントを十分に行なうことが困難である。電子ビーム露光の場合には特に高精細なパターン露光が要求されるのでアライメントは極めて重要な作業条件である。

クス、結晶等からなる。 駄基板 2 は電子放出素子 形成のための領域 2 a とアライメントマーク形成 のための領域 2 b とを有している。

第1の金属階4はたとえばAI,Be,Mo, Pt,Ta,Au,Pd,Ag,W,Cr,Mg, ニクロム等からなる。数金風暦4はこれら金属の [問題点を解決するための手段]

本発明によれば、以上の如き従来技術の問題点を解決するものとして、透明且つ平面性良好な絶縁 基 板上に第1の金属層と絶縁体層と第2の金属層と総縁体層と第2の金属層は電圧を印加するの金属層は電圧を印加する でも1つ配設されており、且つ上記基板には上記で子放出業子が配置されずにアライメント用マークが付されている領域が存在することを特徴とする、電子放出装置が提供される。

[变施例]

以下、図面を参照しながら本発明の具体的実施 例を説明する。

第1図(a)は本発明による電子放出装置の一 実施例を示す部分平面図であり、第1図(b)及 び第1図(c)はそれぞれそのB-B断面図及び C-C断面図である。

これらの図において、2は基板であり、 該基板 は実質上透明で且つ電気的絶縁性を有する平行平 面板である。 該基板はたとえばガラス、セラミッ

いくつかを成分とする合金からなる層やこれらのシリサイドからなる層であってもよい。 金属層 4 の厚さは特に制限がないが、たとえば 0 . 0 0 1 ~ 1 μ m 程度である。

絶録体層 6 はたとえばSiO2 、Ta2 O5 、A 12 O3 、BeO、SiC、SiOx Ny H₂、SiNx Hy、リンシリケートガラス(PSG)、A IN、BN等からなる。 該絶録体層 6 の厚さは 絶録破壊が生じない程度に薄い方が好ましいが、この厚さは 設層 6 に使用される絶縁体の種類や第 2 の金属層 8 に使用される金属の種類等に応じて 所望の電子放出特性が得られるべく適宜設定するのが好ましく、たとえば10~2000人程度である。

また第2の金属形 8 は上記第1の金属層 4 と同様な材料からなる。 該金属層の厚さは電子放出効率の点からはできるだけ薄い方が好ましく、たとえば100~3000 A 程度である。

アライメントマーク形成領域2 b は茲板2の塩

部に位置しており、ここにはアライメントマーク 14が形成されている。はマークは印刷、マスク 恋者、フォトリソグラフィー等により形成するこ とができ、金属や有機物等からなる。はアライメ ントマーク14は基板2に埋設されていてもよ い。はマークは光吸収性または光散乱性を有す る。

本実施例装置は電子ビーム露光装置に利用する ことができる。第2図はこの様な利用形態におけ る使用状態を示す部分断面図である。

第2図において、20はウェハホルダであり、 はホルダにより被加工物たるシリコン等のウェハ 22が保持されている。本実施例装置24は基板 2がウェハ22の変面に平行になる様に配置され る。ウェハ22はアライメントのためのマーク (第2図には図示されていない)が形成されてお り、 数マークは本実施例装置のアライメントマー ク14と関連する形状を有する。そして、本実施 例装置24はマーク形成領域2bのアライメントマークと

アライメントマークが形成されており、これに対 応して本実施例装置24の基板2上にも2以上の マークが形成されており、数2以上のマークの組 に関しアライメントが行なわれる。

本実施例においてはアライメント機の観察光学系に結像されるマーク像30とマーク像32とを目視観察することにより行なってもよいが、アライメント機にレーザ光源を備えておき該光額からのレーザピームをスポット状にウエハ22に乗りし、しまつ頭3回に矢印Aで示される向きに走査ポットがマーク像30、32を横切る際の強度医の相対的位置関係を自動的に検出することもできる。

第4図(a),(b)はアライメント級の観察 光学系におけるアライメント観察状態を示す図で あり、この状態はいづれもアライメントが正確に はなされていない状態である。この場合には光ピ ームスポット走査時における反射光強度変化のパ ターンが第3図の場合と異なり、この調定結果か 対向する様に配置される。

第2図において、26は光学的アライメント級の対物レンズであり、本実施例装置24のマーク形成領域2トに対応する位置において光軸が悲板2に垂直となる様に配置される。上記アライメント級において、対物レンズ26の下方には不図示の観察光学系が設けられている。

第3図は上記アライメント機の観察光学系にお けるアライメント観察状態を示す図である。

第3図において、30はウェハ22に形成されたアライメントマークの像であり、32は上記芸版2上のアライメントマーク14の像である。図示される様に、マーク像30とマーク像32とが左右及び上下に適正な位置関係にあり、これによりウェハ22に対し本実施例装置24が正確にアライメントされたことが確認される。

第2図においては、ウエハ22に付されたアライメントマークと本実施例装置24のアライメントマーク14との組が1つしか示されていないが、ウエハ22には異なる位置に同様な2以上の

らアライメントずれを貸出し、ウエハホルダ22 または本実施例装置24を移動させて第3図に示 される様な正確なアライメント状態を実現する。

かくして正確なアライメント状態が実現された 技に、本実施例装置 2 4 の適宜の 編子 1 0 と適宜 の 編子 1 2 との間に 編子 1 2 関が正となる様な電 圧を適時印加することにより各電子放出案子をマ トリックス 駆動する。これにより、電圧印加され た電子放出案子の第2の金属 8 からは上方へと 電子が放出され、ウェハ22の表面が電子ビーム によりパターン露光される。

上記実施例においては、電子放出来子が2次元的に配列されている例が示されているが、本発明 装置においては電子放出来子は1次元的に配列されていてもよく、この場合被加工物の表面を2次元的パターンで露光するには電子放出来子配列方向を横切る方向に装置全体を被加工物に対し相対的に移動させながら適時適宜の来子を駆動させればよい。

尚、上記実施例においては電子放出案子から放

・出された電子を直接被加工物に照射しているが、 必要に応じて電子放出案子から放出された電子を 適宜の手段により加速及び/または偏向せしめた 上で被加工物に照射してもよく、この様な加速手 段及び/または偏向手段は本発明装置と一体的に 構成することもできる。

[発明の効果]

以上の様な木発明によれば、阿一茲板上に電子 放出案子とアライメントマークとが形成されてい 代理人 ることにより、被加工物等の電子被照射物とのア ライメントを極めて正確に行なうことができ、精 度良好な電子照射が可能となる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)は電子放出装置の部分平面図であり、第1図(b)及び第1図(c)はそれぞれそのB-B断面図及びC-C断面図である。

第2図は電子ビーム露光装置の使用状態を示す 部分断面図である。

第3 図及び第4 図(a) , (b) はアライメント観察状態を示す図である。

2: 蓝板、

2 a: 電子放出案子形成領域,

2 b:アライメントマーク形成領域、

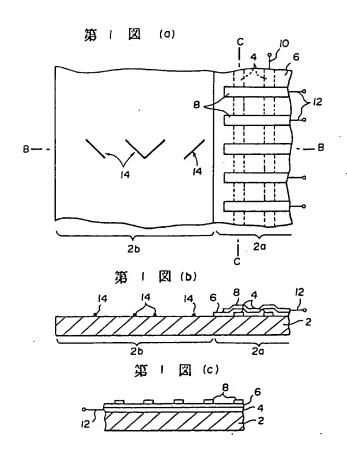
4 . 8 : 金属層 . 6 : 絶疑体層 .

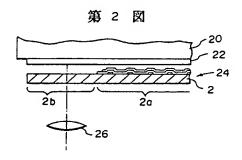
10,12: 端子,

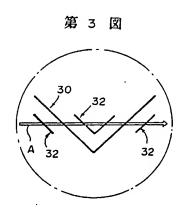
14: アライメントマーク、22: ウェハ、

30,32:アライメントマーク像。

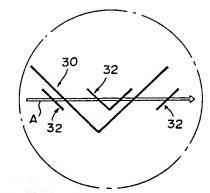
代理人 弁理士 山下 寢 平



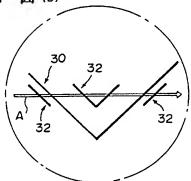




第 4 図 (0)



第 4 図 (b)



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS	
☑ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☑ FADED TEXT OR DRAWING	
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	
☑ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	ď
□ OTHER:	

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.